



兵庫県立ひょうごこころの医療センター 広報誌
Hyogo prefecture-Hyogo Mental Health Center

2025
vol. 1

光る風



特集

巻頭言 ～院長就任のご挨拶～

- ❁ 新年度のご挨拶
- ❁ 新任のご挨拶
- ❁ 田中前院長退任のご挨拶
- ❁ 外来のご案内
- ❁ 交通のご案内

院長 青山 慎介



新緑が山を彩り始め、色とりどりの花を風が心地よく揺らす季節になりました。

この度、兵庫県立ひょうごこころの医療センターの病院長に就任しました、青山慎介です。

当センターに赴任してからの2年間、当センターの良いところとそうでないところ、守るべきものと変えるべきもの、医師として現場で診療しながら、副院長や診療部長としてマネジメントしながら考えてきました。そして、これから将来的に当センターが提供するべき精神医療のあり方や、当センターが育成すべき医療者のあり方、さらにはハードウェアとしての病院のあり方についても思いを巡らせてきました。

思えば、私が精神科医になった30年ほど前と比較して、日本の精神医療を取り巻く状況は、医学的にも社会的にもずいぶん変わったように思います。

私が精神科医として働き出した当時は、夜間や休日の精神科救急医療は各病院が嫌々ながら半ばしょうがなく受け持つ輪番に頼っていましたし、重い身体疾患を持つ精神障害の患者さんを積極的に引き受けてくれる病院はありませんでした。認知症性疾患に対するエビデンスのある治療やケアはほとんどありませんでした。ごく限られた専門家以外は、自閉症やADHDなどの発達障害について今と同じような視点で理解することはできませんでしたし、その経験自体とても乏しいものだったと思います。依存症という疾患としてギャンブルやインターネットゲームが語られることもありませんでした。統合失調症の症状は、今よりももっと重篤でしたし、どの病院にも退院できない長期入院の方がたくさんいました。医師は看護師や保健師と一緒にあって、住まいを訪問したり、退院できる家を探しに行ったりしました。業務なのかボランティアなのか分からないような仕事がたくさんありました。たかだか20年30年前のことです。この間、治療薬も増え、救急や身体合併症を積極的に引き受ける医療機関も増えました。精神疾患に関する理解も広がり、精神医療に関わるリソースも増えたように感じます。

当センターも、精神科救急、依存症、児童思春期、認知症疾患、それぞれのセンターを柱とするあり方に構造を変えてきました。しかしそれでも今ある精神医療は病む人にとって社会にとって、充分とは言えませんし良質なもののばかりではありません。さらに、今から10年先、20年先の当センターは今とは違うあり方を求められるでしょうし、すでにその兆しは見えています。

県立病院としての当センターの歩んできた道が、この先どのように変化するのか、変化するべきなのか、それが今ここにいる私たちに課せられたテーマだと思っています。しなやかに、しかし大切なものは失うことなく進んでいきたいと思っています。

新年度のご挨拶

副院長 見野 耕一



私は、神戸大学病院、光風病院、沖縄県立八重山病院、神戸市立医療センター西市民病院、尼崎総合医療センターなどで勤務し、令和3年より、再び当センターに復帰して、日々の精神科医療の実践をしております。

今年度は診療部長および精神科救急医療センター長を兼務しています。精神科救急医療センターが当センターの要として機能しながら、児童思春期センター「ひかりの森」、依存症医療センター、認知症疾患医療センターなどが相互に連携するように努めてまいります。そして、県内の精神保健医療福祉の向上に寄与することを目的に日々励んでいきます。

当センターは、地域で暮らす精神疾患患者さんが365日安心して生活できるよう診療体制を整えています。また、地域医療機関の期待にも的確に応えられるように、精神科専門医を養成する基幹医療機関として、よりいっそうの研鑽を積んでまいりますのでご高配ご支援を賜りますようお願いいたします。

新任のご挨拶

副院長 渡邊 敦司



このたび、副院長に就任しました渡邊です。昨年度までの担当していました、地域医療連携部長および部長（児童思春期担当）は、引き続き兼務することになりました。

地域医療連携部では、医療機関や保健所などの関係機関と密に連携し、これまで以上に地域に求められる医療を実践できるように努めます。当センターに対するご意見や疑問などございましたら、何でもお知らせください。より良い病院になるように改善していきます。

児童思春期センターは、児童思春期外来および児童思春期病棟を有しており、こころの問題を抱える子どもたちに専門的な医療を提供しています。児童相談所や保健所、学校などとも連携し、子どもたちが地域でのびのびと生活できるように支えています。よろしくお願いいたします。

看護部 看護部長 安藤 彰美



このたび、丹波医療センターより着任いたしました。今回は2度目の赴任となります。

1度目は6年前、その頃から新型コロナウイルス感染症が蔓延しはじめ、緊急事態宣言が発令されました。患者さんの入院生活や診療に多大な影響を及ぼし、感染対策会議や環境・物品の調整に追われ、「3密回避」のためほぼ全ての催事が中止となるなど、出口の見えない2年間でした。

今回は4年前とは大きく変化し、日常の診療や患者さんの入院生活だけでなく、研修やセミナー、実習も通常に行われています。患者さんが地域で暮らし続けるための相談支援体制が強化されており、患者さんのくらしを中心に考えることができる環境を嬉しく感じています。病院と地域の垣根を低く双方向に皆さまと連携しつつ、患者さんの生活の質向上に努めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

薬剤部 薬剤部長 本間 久美子

今年度、はりま姫路総合医療センターより着任いたしました、薬剤部の本間と申します。

昨今、病院薬剤師の業務はチーム医療の一員としての役割をますます強めております。

当センターでも薬剤部スタッフが病棟で他の職種の方々と共に従事している姿を見て、とても頼もしく感じています。私の方は慣れない業務に翻弄されつつ、ひょうごこころの医療センターと言えば・・・の有名な坂道に早くもバテ気味ですが、薬剤部の一員として患者さんに寄り添う医療に貢献し、また組織運営にも貢献するよう努めます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



栄養管理部 課長 鳥井 隆志

この度、栄養管理課長として着任いたしました鳥井です。

精神科専門病院は初めての経験となりますが、患者さま一人ひとりの心と身体に寄り添い、安心して美味しい食事の提供を目指すとともに、丁寧な栄養相談を通じて療養生活を支えていきたいと考えています。

医療チームの一員として、地域の皆さまに信頼される存在となれるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護部 北1病棟 看護師長 殿脇 富美

この度、淡路医療センターから着任しました殿脇です。私は神戸市北区にある病院附属の看護学校を卒業し、4年間勤務した後故郷である淡路島に戻りました。ひょうごこころの医療センター（旧光風病院）は実習病院でした。昨年学校が閉校となり30年余りぶりに訪れ、懐かしい気持ちで一杯でした。今年度転勤の辞令を受けた時も縁を感じ、この地に呼ばれているのかなと思いました。その時は看護師としても未熟で何もできなかったのですが、微力ですが患者さんに良い看護を提供できるよう精進したいと思います。

専門病院での勤務は初めてで、ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。



看護部 西2病棟 看護師長 平松 浩一

この度、西2病棟看護師長となりました平松です。元々、精神科救急病棟に勤務しており急性期治療が多かったのですが西2病棟へ異動となりました。

西2病棟は精神科救急病棟後方支援病棟として退院支援の役割を担っております。患者様が安心して地域生活が送れますよう、心理教育、クライシスプランなどに力を入れており微力ながらご支援していければと考えております。師長となったばかりで戸惑うことばかりですが優しい先輩方や病棟スタッフに支えられながら一歩ずつ成長していければと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



田中前院長退任のご挨拶

この3月一杯で、兵庫県立ひょうごこころの医療センターの院長を退くこととなりました。在任中は、いろいろなことがありましたが、多くの人たちのご助言、ご支援でこれまで大過なくやってこれたことをとても感謝しております。

当センターが「人としての尊厳を大切にし、だれもが安心できる医療を提供します」という理念の下、来院される患者さまに安全、安心で最善の医療を提供し、そのご家族、支援者の方々はもちろん、ここで働き、また集う多くの人々にとって繋がりと安寧を感じることができる場所となるように願って、多くの方々のご協力をいただいて、職員一丸となってともに力を合わせてやってまいりました。こうした歩みの一つひとつのことが、私にとってかけがえのない経験となり、すべてが良い思い出となっております。

敷地の隅々にまで花が咲き誇り、柔らかな光が降り注ぎ、穏やかな風がそよぎ、そこに来られる人々が穏やかな歩みを続けていけるような場所であること、それが職員一人ひとりの心持ちであり、患者さまへのケアに生かされていること、それが当センターの誇りであると思っています。今後もそうした場所であり続けることを願っています。

今後は少し立場が変わりますが、また新しい形で診療の場に関わっていけたらと思っています。引き続き、兵庫県立ひょうごこころの医療センターへのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

改めて、これまで本当に多くの方々に支えていただき、無事にここまで務めることができたことを、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

田中 究 2025年3月



外 来 の ご 案 内

完全予約制です。

▶ **受 付 時 間** : 平日9時から17時まで ※医師の希望は受付できませんのでご了承ください。

▶ **予約電話番号** : 078-940-5510 (地域医療連携部直通)

再診の方で予約変更の場合は予約センターへご連絡ください。

▶ **予約センター** : 078-581-1013 (代表)

☆は初診の診察となります。

※休診日：土・日曜日・祝祭日及び年末年始

一般成人精神科外来	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1 診	☆ 置塩	—	田中		見野		青山		田中	
2 診	☆ 担当医	稲村	☆ 担当医	浦井	☆ 担当医	松本	☆ 担当医	新居	☆ 担当医	谷口
4 診	轟		中井		曾我		葛山		北島	
5 診	吉川		—		石橋		置塩		堀本	
6 診	丸田		佐藤		大山		和田		袋井	
7 診	土居		☆ 谷口	—	久保井		真殿		小林あ	
8 診	—	梅木	—	坂口	金田		米村		竹中	
9 診	☆ 近藤	—	佐武		近藤		☆ 袋井	—	☆ 米村	—

注意) 児童思春期外来のご予約は必ず医療機関からのご連絡をお願いします。

児童思春期精神科外来	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1 診	木下		松尾	持田	関口	田中	渡邊		☆ 和田	和田
2 診	—	米村	☆ 梅木	—	尾崎		—	—	緒方	
3 診	—	☆ 田中	☆ 堀本	☆ 小林あ	☆ 稲村	—	☆ 緒方	—	☆ 浦井	—
4 診	☆ 久保井	—	☆ 丸田	—	☆ 佐藤	—	小林み		☆ 松本	—

▶ **認知症疾患医療センター** : 078-940-5522

もの忘れ外来は認知症疾患医療センターへご連絡ください。

もの忘れ外来	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
3 診	☆ 小田		☆ 小田		—	—	☆ 小田		—	—

交 通 の ご 案 内

【電車でおこしの方は】

阪急・阪神・ポートライナー・JR三宮駅より
市営地下鉄のりかえ、谷上駅下車、徒歩8分
神戸高速鉄道・新開地駅よりのりかえ、
神戸電鉄・谷上駅下車、徒歩8分

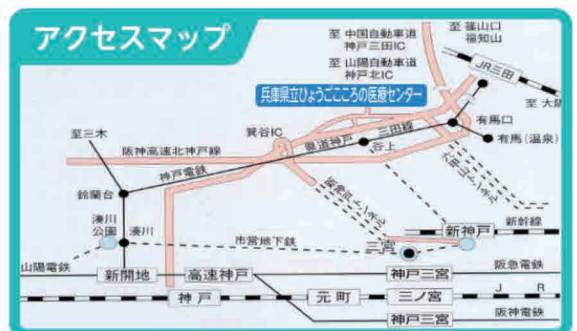
【車でおこしの方は】

病院敷地内に無料の外来駐車場がありますが
台数に限りがあります。

※神戸電鉄・市営地下鉄
線谷上駅と当センターの
間で患者送迎バスを運行
しています。バスの時刻
表は、下記のQRコード
でご確認ください。



Scan Me!



07病P2-005A4